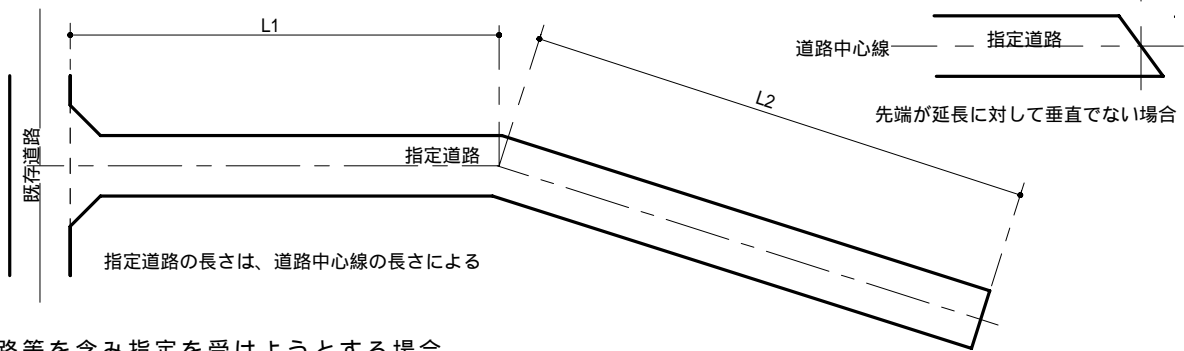
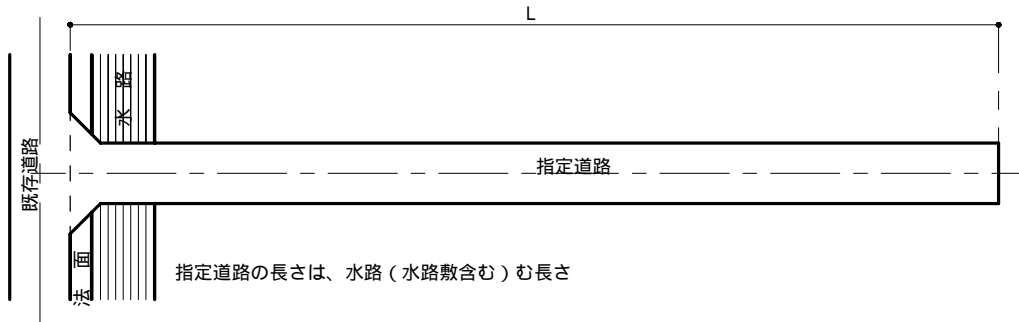


# 指定道路の技術基準 1 (道路延長の計測方法)

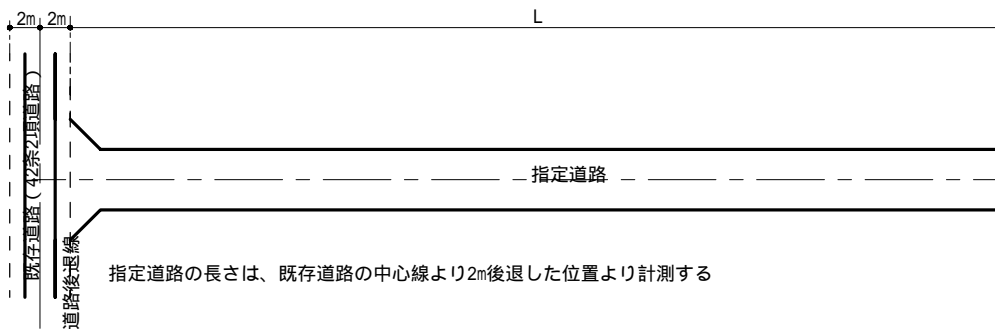
## 1 道路が屈曲している場合など



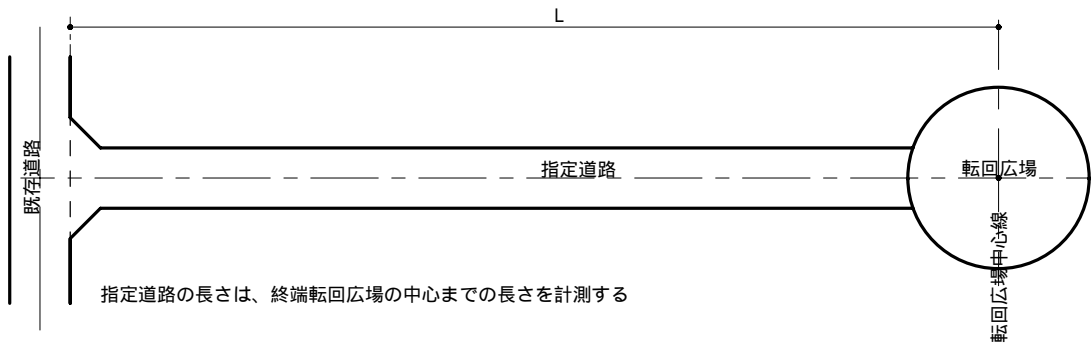
## 2 水路等を含み指定を受けようとする場合



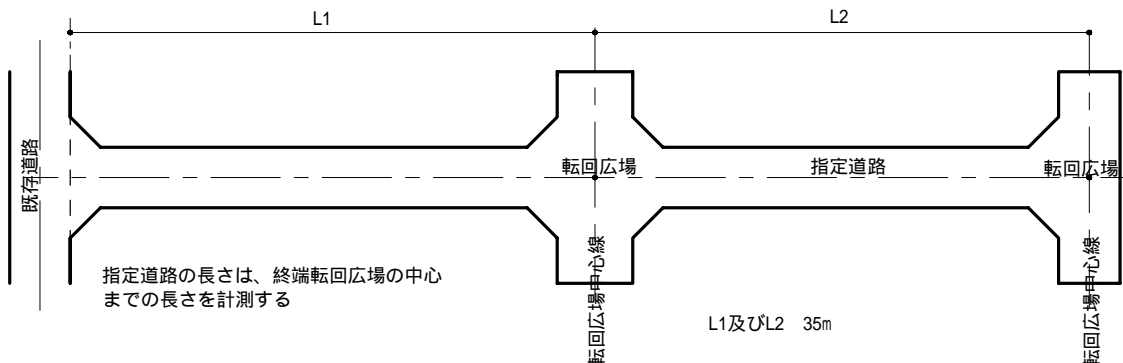
## 3 法第42条第2項の道路（幅員4m未満）に接続する場合



## 4 終端に転回広場がある場合

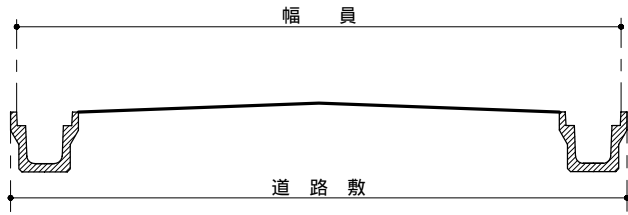


## 4 終端及び中間に転回広場がある場合

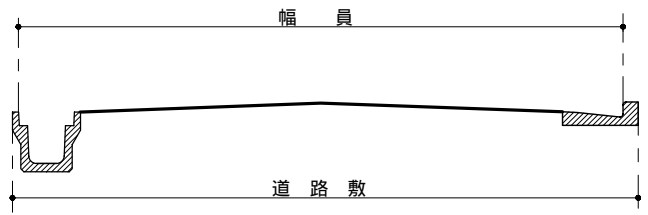


# 指定道路の技術基準 2 (道路幅員の基準)

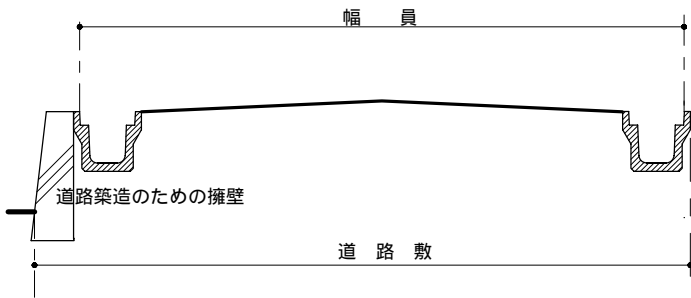
1 両側 U字溝の場合



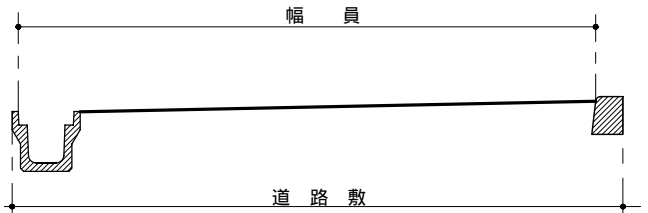
2 U字及びL形側溝の場合



3 擁壁のある場合

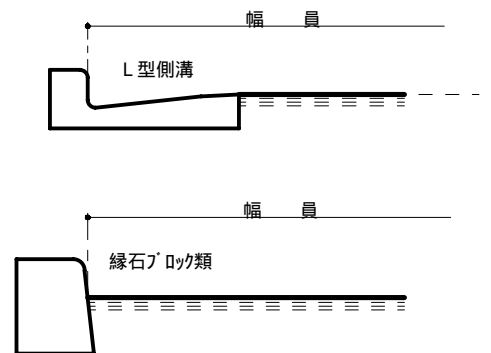
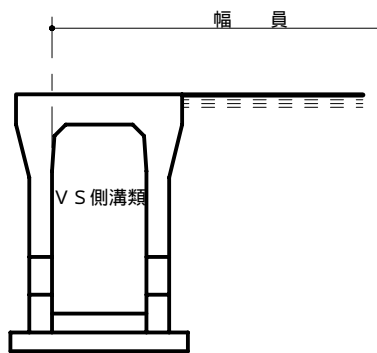
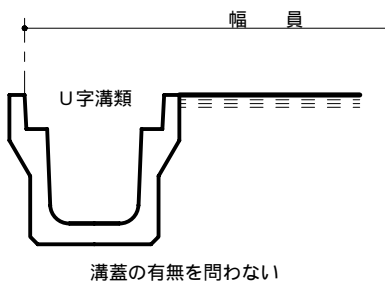
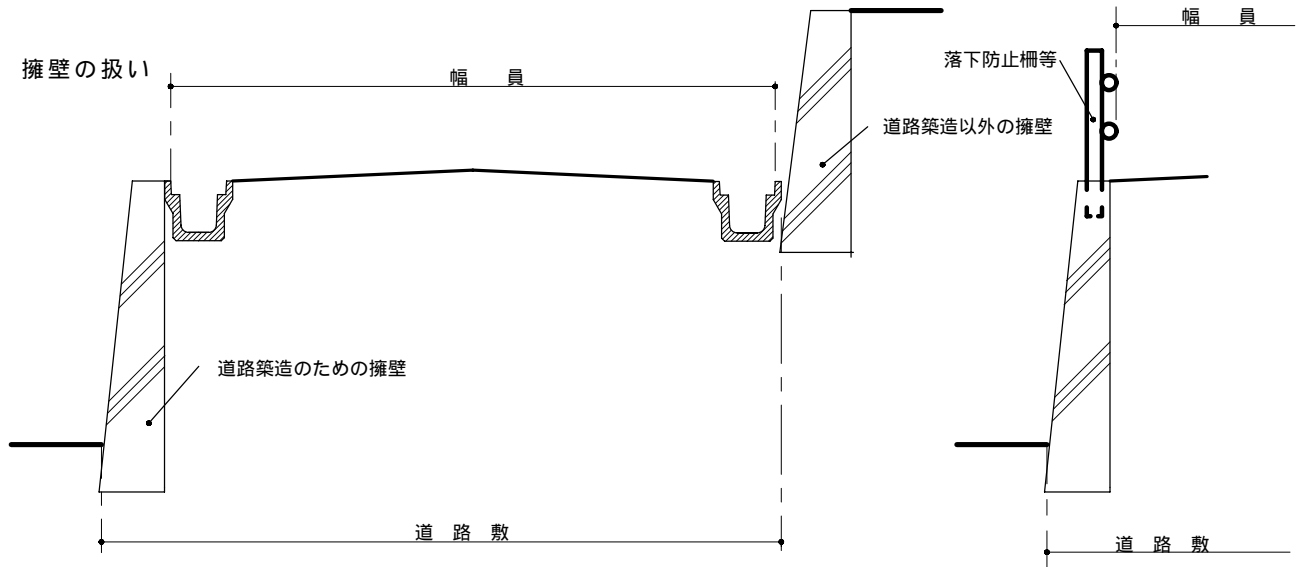


4 片側縁石ブロック等の場合



6 落下防止柵設置の場合

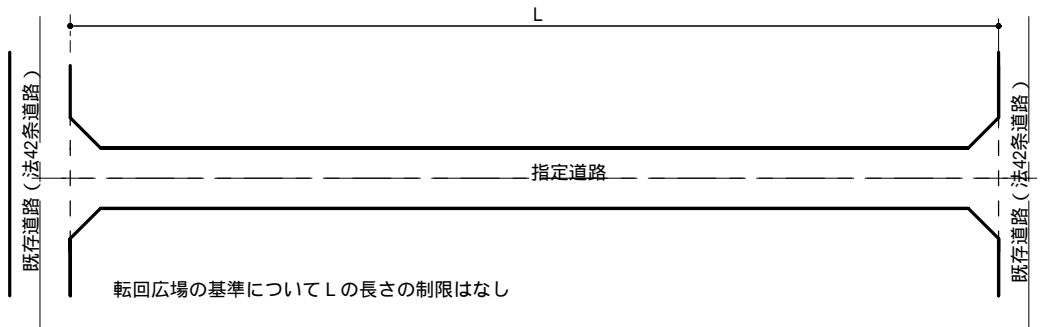
5 擁壁の扱い



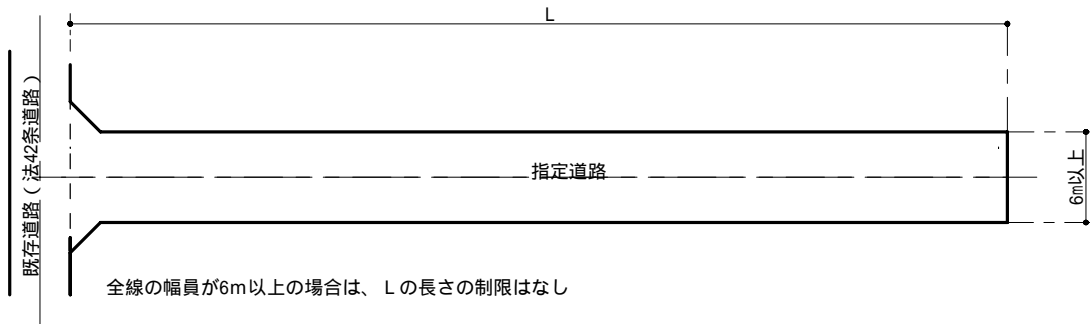
- 1 いずれも側溝等の内側より幅員を計測する。
- 2 道路を構成する擁壁、側溝、境界ブロック等は原則道路部分(道路敷)として分筆する。

# 指定道路の技術基準 3 - 1 ( 転回広場の設置基準 )

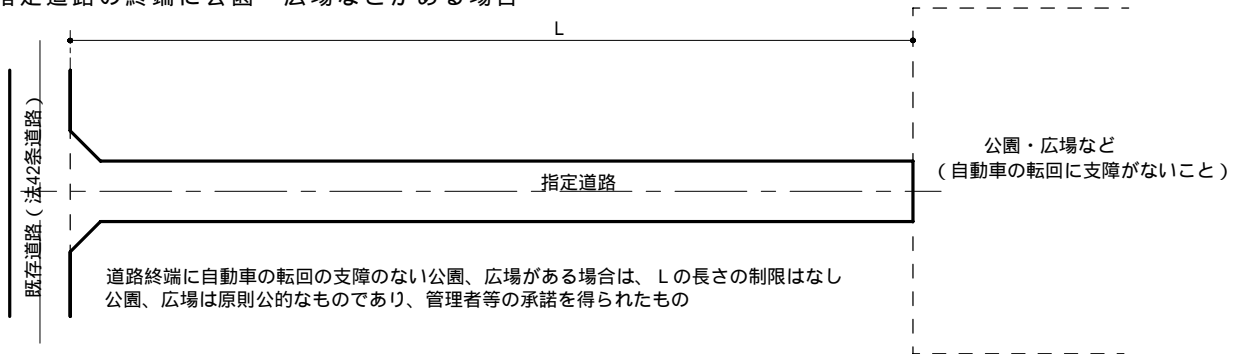
## 1 指定道路両端が建築基準法第42条道路に接続する場合



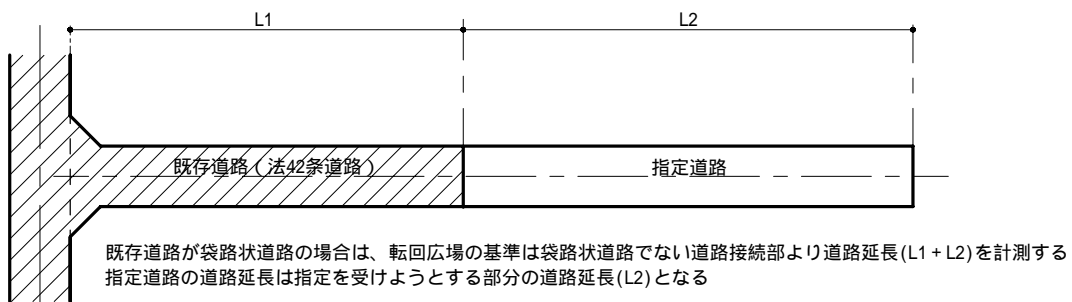
## 2 指定道路幅員が6m以上の場合



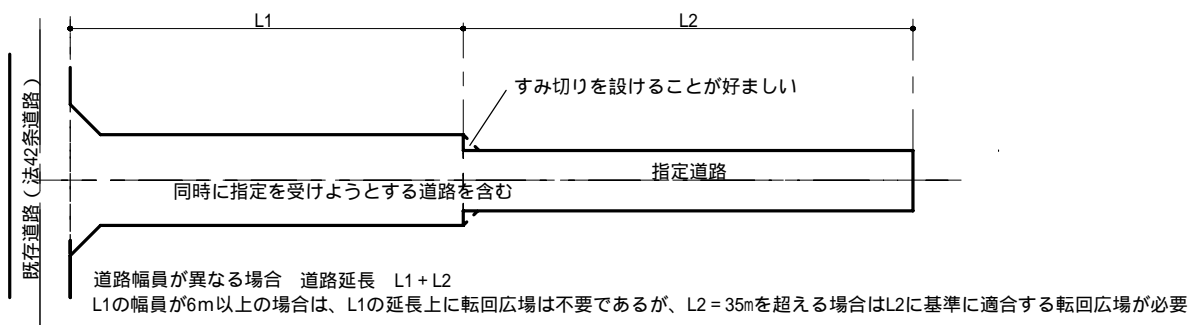
## 3 指定道路の終端に公園・広場などがある場合



## 4 既存道路が袋路状道路の場合

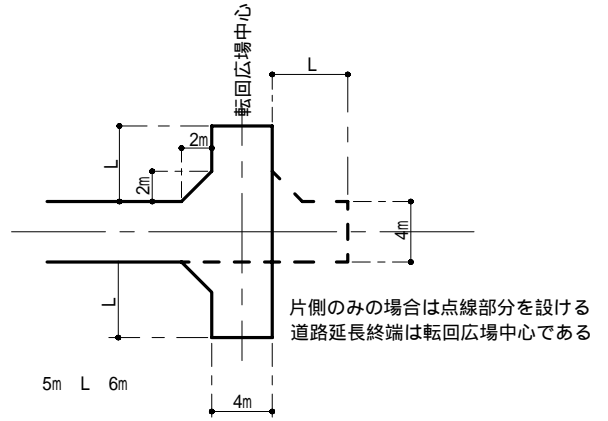
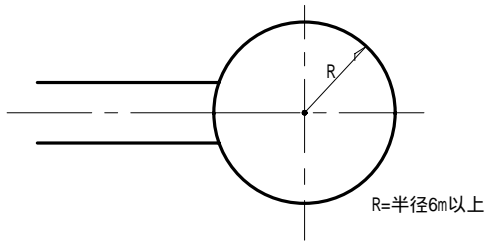


## 5 袋路状道路部分の幅員が異なる場合



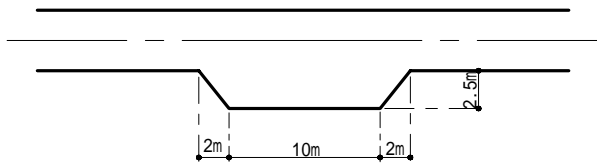
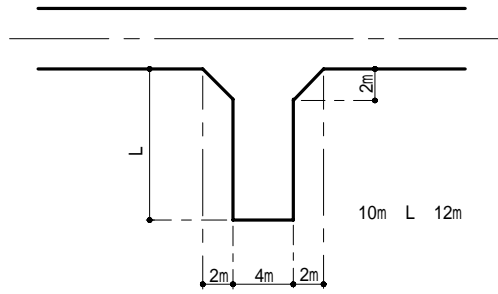
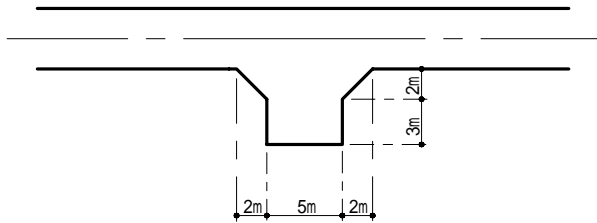
# 指定道路の技術基準 3 - 2 ( 転回広場の基準 )

## 1 終端の転回広場の形状

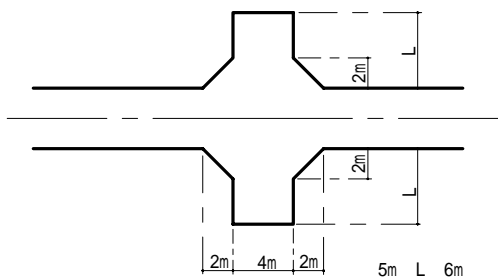
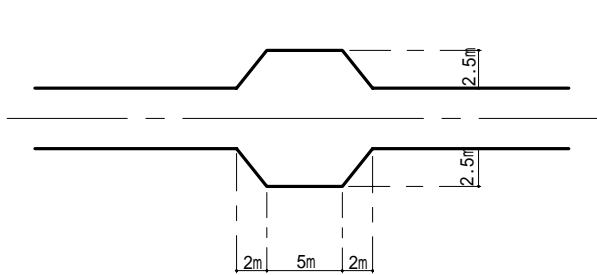


## 2 中間に設ける転回広場の形状

### ( 1 ) 片側に設ける場合



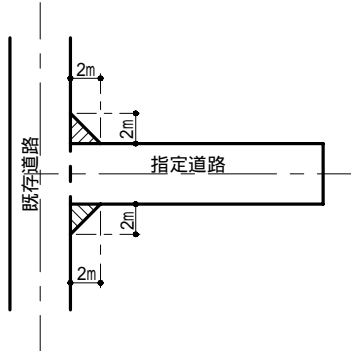
### ( 2 ) 両側に設ける場合



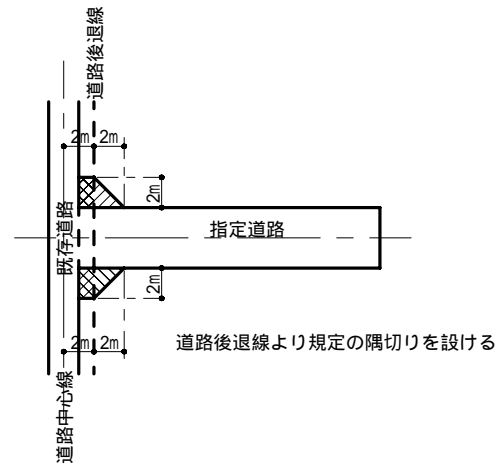
転回広場は、縁石などで区画する。

# 指定道路の技術基準 4 (すみ切りの基準)

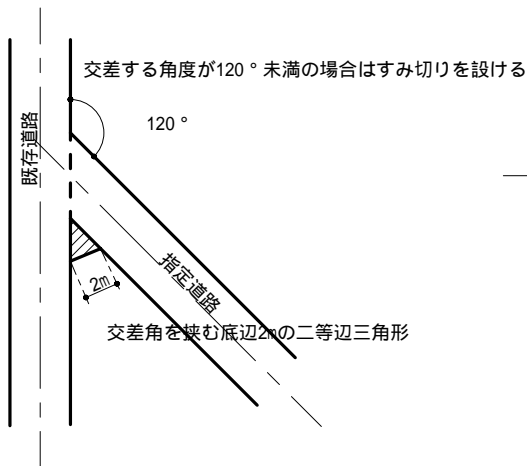
1 一般的なすみ切り形状



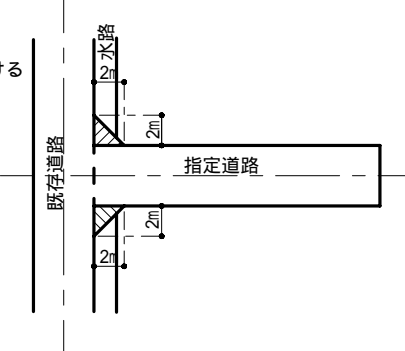
2 法42条2項道路との交差点



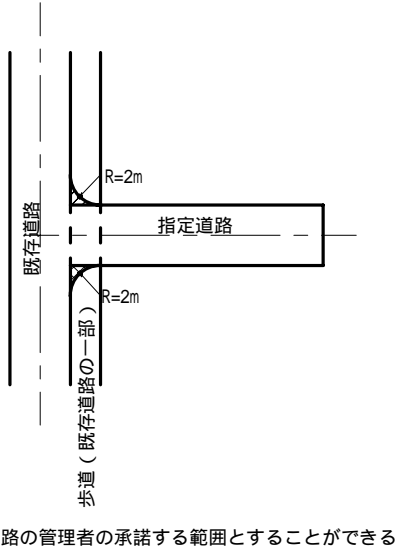
3 鋭角に接続する交差点



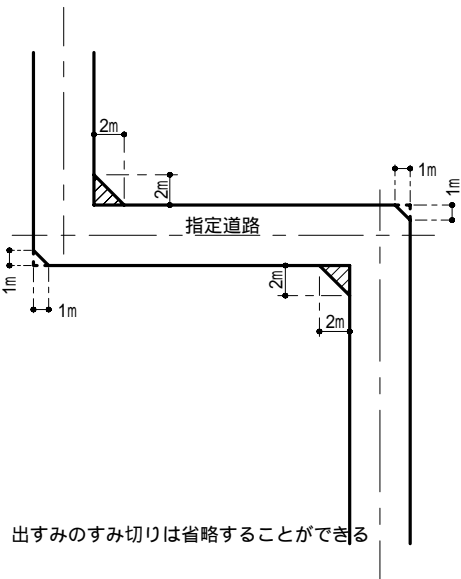
4 水路のある交差点



5 歩道のある既存道路との交差点

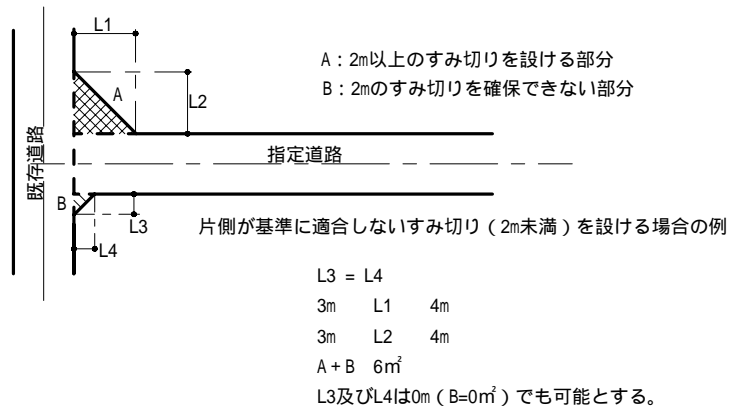


6 途中で屈曲する部分のすみ切り



## すみ切りの特例 1

道路交差部分に「道路の基準4（すみ切りの基準）」によるすみ切を両側に設けることができない場合は、以下の基準によることができる。



## すみ切りの特例 2

交差部分の両側にすみ切りを設けることができない場合は、上記「すみ切りの特例1」のほか、以下により片側のみのすみ切りとすることができる。

- 1 指定を受けようとする道路が屈曲しているとみなし（仮想の道路を設定）すみ切りの検討を行い、すみ切りの基準に適合していること。
- 2 仮想の道路幅員は、基準となる道路幅員以上であること。  
(隅切りの不要な交差角度や道路内におけるすみ切り寸法等により様々な形態が考えられる。)

